

# 「踏切事故防止キャンペーン」の実施結果について

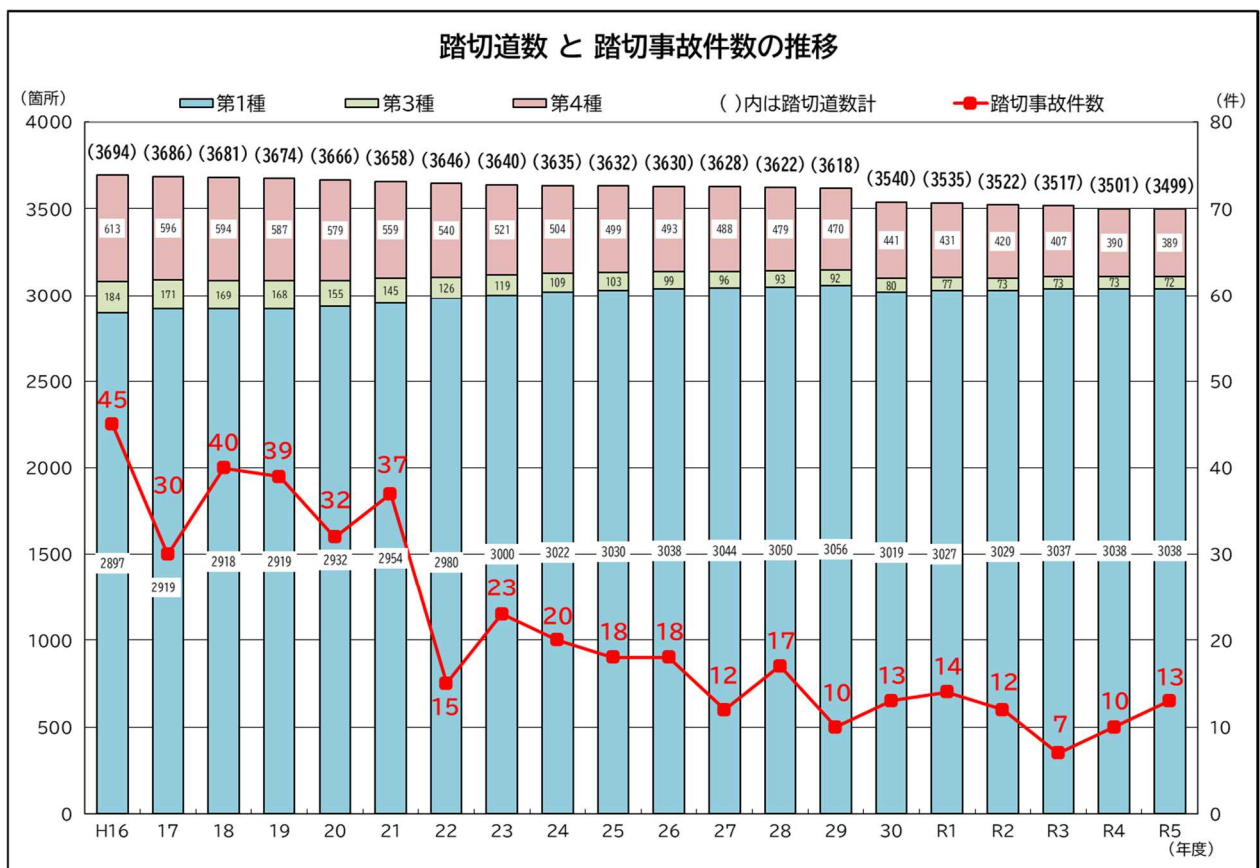
〈 令和6年11月1日～11月30日 〉

※11月1日～11月10日は強化期間

## (はじめに)

中国運輸局では実施機関\*と協力し、平成2年度から踏切事故防止キャンペーンを実施し、踏切事故防止に努めております。同キャンペーンを立ち上げた平成2年度の中国運輸局管内における鉄道運転事故は**112件**であり、このうち踏切事故は**80件**発生していましたが、令和5年度の鉄道運転事故は**38件**、このうち踏切事故は**13件**となっています。踏切事故は、減少傾向ではあるものの、令和3年度以降増加傾向となっています。【図1】

今年度は、踏切事故防止キャンペーンの実施期間をこれまでの10日間から、30日間に拡大し11月1日から10日を強化期間として実施しました。



【図1】踏切道数と踏切事故件数の推移

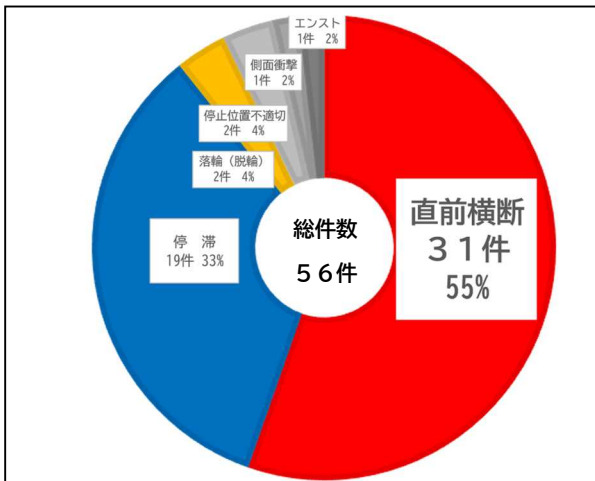
### \*実施機関

中国四国管区警察局、中国地方整備局

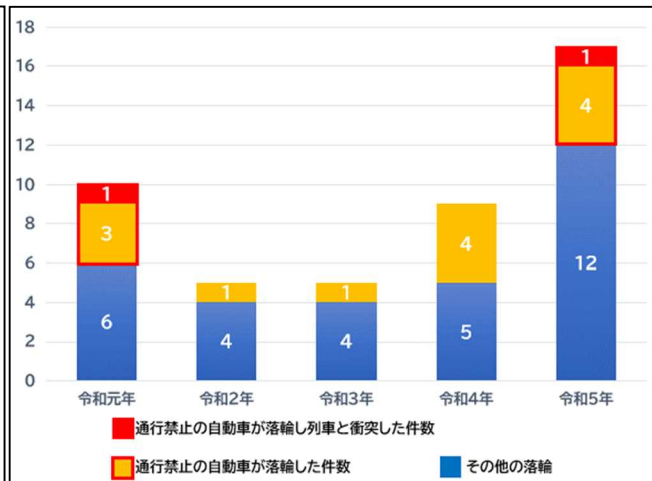
西日本旅客鉄道株式会社、日本貨物鉄道株式会社

中国地方鉄道協会

一畑電車株式会社、広島電鉄株式会社、水島臨海鉄道株式会社、錦川鉄道株式会社、若桜鉄道株式会社、智頭急行株式会社、井原鉄道株式会社、岡山電気軌道株式会社、広島高速交通株式会社



【図2】令和元年度から令和5年度に発生した踏切事故の原因内訳



【図3】踏切で発生した踏切事故・輸送障害のうち「落輪・脱輪」の報告があったものの件数

令和元年度から令和5年度までの5年間に発生した踏切事故の原因は、列車が接近しているにもかかわらず自動車や歩行者等が踏切内に進入し事故となる「直前横断」が最も多く約55%を占めており、次に踏切内に閉じ込められる「停滞」が約33%となっています。【図2】

また、近年では踏切内で自動車が「落輪」し、踏切事故や列車が遅れる輸送障害が増加しており、令和5年度は17件発生し、そのうち、5件は交通規制のある踏切に通行禁止の自動車が進入していました。【図3】

このような、踏切事故を未然に防止するためには、踏切道を利用する自動車運転者や歩行者等に対し、事故の原因や未然防止について幅広く継続的に啓発活動を実施することが重要であり、また、幼少期から安全教育を行うことにより安全の意識を向上させることが効果的と思われることから、本キャンペーンにおいては、実施機関がそれぞれの創意工夫により幼児や高齢者等を対象とした交通安全教室や踏切道における通行指導等について、積極的な取り組みを行っています。

## 1. 街頭啓発

踏切道及び駅構内において、リーフレット、グッズ等を配布し、踏切道における事故を未然に防止するため踏切道の通行方法等に関して周知・啓発を図りました。

- 【活動実績】「JR関係」48箇所(参加者約390人)、「民鉄」25箇所(参加者約130人)
- 【各地域での取り組みの様子】



鈴が峰踏切(広島)  
(写真:中国運輸局鉄道部 撮影)



山王道踏切(鳥取)  
(写真:西日本旅客鉄道(株) 撮影)





新町踏切(広島)  
(写真:日本貨物鉄道(株)広島機関区 撮影)



王子第一踏切(鳥取)  
(写真:日本貨物鉄道(株)岡山支店 撮影)



神ノ内踏切(山口)  
(写真:錦川鉄道(株) 撮影)



若桜街道踏切(鳥取)  
(写真:若桜鉄道(株) 撮影)



中村第一踏切(鳥取)  
(写真:智頭急行(株) 撮影)



神辺東踏切(広島)  
(写真:井原鉄道(株) 撮影)

## 2. 広報啓発

### ① 駅及び車内におけるスポット放送

朝夕の通勤時間帯の駅の構内や列車の車内で定期的に踏切事故防止を呼びかける啓発放送を行い、鉄道利用者の方々へ周知・啓発を図りました。

### ② ラジオ放送を媒体とした広報

公益財団法人日本道路交通情報センターへ踏切通行に際して安全確認の遵守が重要であること等に関する啓発放送を依頼し、ラジオ放送により、自動車ドライバーへ周知・啓発を図りました。

○【広報実績】ラジオ放送134回

○【コメント一例】

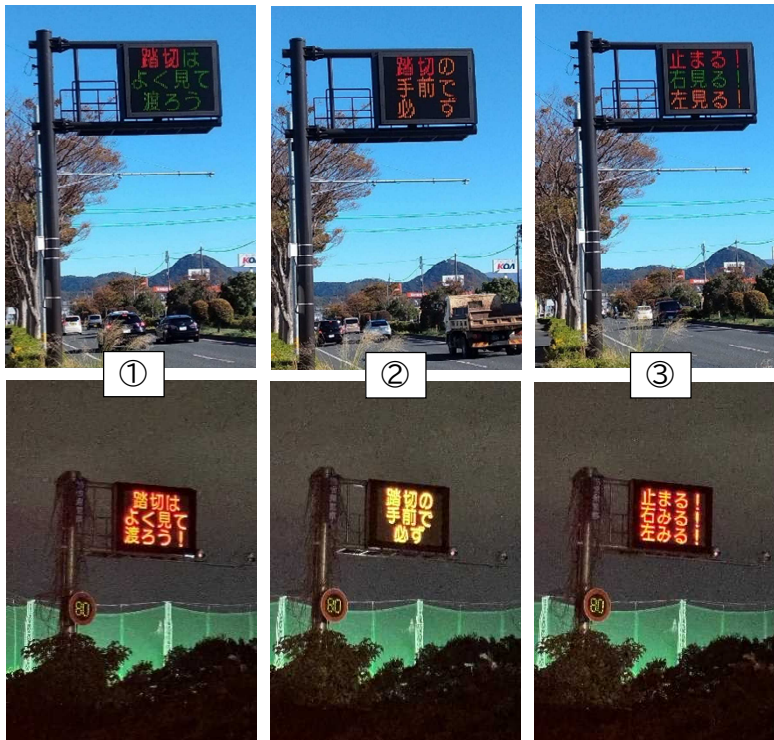
・ドライバーの皆さん、踏切の手前では必ず止まって安全を確認しましょう。

・ドライバーの皆さん、場所によって一部の車両の通行が禁止されている踏切があります。

踏切を通ろうとする時は、交通規制標識をしっかりと確認しましょう。

### ③ 電光掲示板による広報

各実施機関が所管する電光掲示板を利用し、自動車ドライバーへ周知・啓発を図りました。



(上)鳥取県警察本部  
(鳥取市内 国道9号線)  
(写真:中国運輸局鳥取運輸支局 撮影)

(下)島根県警察本部  
(松江市内 国道9号線)  
(写真:中国運輸局島根運輸支局 撮影)

①踏切はよく見て渡ろう！

②踏切の手前で必ず

③止まる！右見る！左見る！

### ④ ポスター、リーフレット等による広報、グッズ配布等による啓発

中国四国管区警察局、中国地方整備局、中国運輸局、関係団体等においてポスター掲示及びリーフレット配布を行う等、来訪者の方々へ周知・啓発を図りました。

○【ポスター掲示実績】54箇所

また、各鉄道事業者において、駅・事業所へのポスターの掲示やグッズ配布等により鉄道利用者に対し周知・啓発を図りました。

○【ポスター掲示実績】「JR関係」51箇所、「民鉄」90箇所

○【グッズの配布実績】「JR関係」48箇所、「民鉄」25箇所

### ⑤ 中国運輸局ホームページ(踏切の事故防止について)に掲載

ポスターやリーフレット、パンフレット等がダウンロードできるようホームページに掲載しました。





ポスター(A2)



リーフレット(A4 表)



リーフレット(A4 裏)



グッズ  
(ポケットティッシュ)



大竹駅貨物事務室(広島)  
(写真:日本貨物鉄道(株)広島機関区 撮影)



岡山貨物ターミナル駅構内(岡山)  
(写真:日本貨物鉄道(株)岡山支店 撮影)



錦町駅構内(山口)  
(写真:錦川鉄道(株) 撮影)



列車内(山口)  
(写真:錦川鉄道(株) 撮影)

鳥取県高速道路交通安全協議会  
第107号(令和6年11月) 掲載



### 3. 踏切保安設備の安全確保

#### ① 踏切保安設備等の点検整備

踏切道の点検、遮断かんの塗装、標識類の整備、雑草の伐採等を実施しました。

○【点検実績】「JR」1274箇所(整備193箇所)、「民鉄」182箇所(整備26箇所)

#### ② 踏切障害事故等発生時の対応訓練

踏切内で列車と自動車が接触したことを想定した総合復旧訓練、踏切遮断かん折損時の仮復旧作業の訓練等を実施しました。

○【訓練実績】「JR」7箇所、「民鉄」2箇所



才代第二踏切(鳥取)  
(写真:若桜鉄道(株)撮影)

### 4. 高齢者・児童等への啓発活動

#### ① 高齢者等に対する啓発活動

各県老人クラブ連合会等へポスター、リーフレット及びノベルティを配布し、また、近隣自治会の方々へ周知・啓発活動、踏切安全教室を開催し踏切事故防止を図りました。



近隣自治会への啓発(山口)  
(写真:錦川鉄道(株)撮影)



踏切安全教室(鳥取)  
(写真:若桜鉄道(株)撮影)

#### ② 幼児に対する啓発活動

幼稚園等を訪問し、紙芝居や模擬踏切、ミニ電車等を活用して踏切安全教室を開催し、踏切の安全な渡り方や非常ボタン操作の体験等を通じて、園児の皆さんへ周知・啓発を図りました。



- 【訪問実績】 JR・広島電鉄(株)・中国運輸局合同 2箇所 (園児約200名)  
JR・山口県警察本部・中国運輸局合同 4箇所 (園児約120名)



認定子ども園広島光明学園



廿日市聖母マリア幼稚園



玖珂幼稚園



聖華保育園



貞源寺保育園



真珠幼稚園・真珠保育園

※写真:中国運輸局鉄道部 撮影

③ 学校訪問等による啓発活動

鉄道沿線の幼稚園、小学校、自動車学校等を訪問し、リーフレット及びグッズ等を配布し、踏切事故防止に関して、周知・啓発を図りました。

- 【訪問実績】 「JR関係」8箇所、「民鉄」10箇所

## (まとめ)

令和6年度の踏切事故防止キャンペーンは、11月1日から11月30日までの1ヶ月間をキャンペーン期間とし、1日から10日を強化期間として実施しました。また、山口県警察本部の協力を得て、山口県内の警察署、西日本旅客鉄道株式会社及び中国運輸局の合同で幼稚園等において、紙芝居や模擬踏切を活用した踏切の渡り方教室を山口県で初めて開催し、園児たちに対して啓発活動を実施しました。

踏切事故を未然に防止するためには、継続的に啓発活動を実施することが重要であり、引き続き、実施機関と協力して踏切事故防止に取り組んでまいります。